

やのまへのすくねあかひと つくうた
山部宿禰赤人の作る歌一首 并せて短歌

九三三番

天地の遠きがごとく 日月の長きがごとく
おしてる 難波の宮に わご大君 国知らすらし
御食つ国 日の御調と 淡路の野島の海人の
海の底 沖ついくりに 鮑玉 さはに潜き出 舟
並めて 仕へ奉るが 尊き見れば

反歌一首

九三四番

朝なぎに 梶の音聞こゆ 御食つ国 野島の海人
の 舟にしあるらし